

審査委員特別賞

地獄からの復活劇 ～御釈迦様からの試練～

岡山県 岡山大学教育学部附属小学校 5年 末光 由季

講 評

芥川龍之介「蜘蛛の糸」を読んで浮かんだ疑問—蜘蛛を助けるだけで大泥棒が極楽に行けるなんて、どれだけの苦勞なのだろうか—を数理の視点で確かめようとした研究作品です。主人公、韃陀多(かんだた)が地獄と極楽の間を1万里として、どれくらいの時間で移動できるかを調べるため、蜘蛛の糸の代わりに登り棒を自ら登り平均移動速度を割り出し、12.7年かかることを得ています。問題意識、状況設定(仮定)にオリジナリティが認められます。

中央審査委員会